

会議議事録（要旨）

会議の名称	第3回 第2次宇多津町総合計画審議会
開催日時	令和5（2023）年12月1日（金）15:00～16:20
開催場所	宇多津町保健センター2階 会議室
出席者氏名	川瀧委員、久保氏（小松委員の代理）、津谷委員、尾崎（亮）委員、木下委員、藍川委員、水尾委員、尾藤委員、鈴池委員、松本委員、住野委員、加野委員、神出委員、水本委員、青木委員、木村委員、松沢委員、橋本委員、亀井委員、チャン ティカム ジャン委員
欠席者氏名	川本委員、大坂委員、柴崎委員、尾崎（祐）委員、前川委員、真鍋委員
事務局職員氏名	高瀬教育長、磯崎統括監、井原統括監、原岡統括監、吉田課長、岩瀬主任主事、川井主任主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長挨拶 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> （1）前期基本計画における重点施策（重点プロジェクト）について （2）前期基本計画における施策の展開について 4 その他 5 閉会
配付資料	資料1 第2次宇多津町総合計画前期基本計画（案） 会議次第、委員名簿、席次表
その他	傍聴者なし 小松委員代理出席

議事内容（要旨）

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配付資料確認 ・出席者確認（委員変更：香川短期大学の鴨井委員から亀井委員に委員変更） ・第2回審議会以降の協議状況の報告 10月30日第3回庁内調整連絡会
加野委員（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・定足数の確認 20名参加

	・議事（１）前期基本計画における重点施策（重点プロジェクト）について、事務局より説明願いたい。
（株）ぎょうせい担当者	資料１を説明
加野会長	何か意見はないか。
久保氏	全体的に、年度と暦年の使い分けをしてほしい。
事務局	次回までに内部で検討する。
加野会長	他はいかがか。
青木委員	重点施策５の「コミュニティの再生と地域福祉の推進」の中にあるコミュニティだが、若い人が自治会等の団体に加入していないという現状をどうフォローするかが課題である。 これからの地域は若い人が育てていくという観点からいけば、学校のPTAや幼稚園の親会といったところを通して地域コミュニティに繋がっていくのではないかと考えている。
加野会長	本町はマンションが多い。居住者はマンションの管理組合には入るが、地域での清掃活動等へは参加しないといった状況がある。まちづくりにとっては大事なポイントではないか。広報誌を各家庭に届けるためには、自治会等のある程度の組織がないと届かない。
尾藤委員	ボランティア連絡協議会には 20 団体が加入しており、社協関係等さまざまな活動をしているが、参加者が年々高齢化しており、中間層が育たない。結果として支援者が増えない状況にある。各団体で活動が確実に確保できる方向性を見つけないといけな。例えば、高齢者の買い物、通院ができないといった状況等。それに関連してコミュニティバスの不便さ及び近隣とのコミュニティバスの導入等、その辺を進めてほしい。
加野会長	貴重な意見に感謝する。確かに若い世代の加入が難しくなっている。 議事（２）前期基本計画における施策の展開について事務局より説明願いたい。
（株）ぎょうせい担当者	資料１を説明
加野会長	何か意見はないか。
松沢委員	① P117 ごみ収集量は令和４年で 6,173t が令和 10 年には 6,000t に減少している。これは人口が減少すれば達成されるものであり、比較するならば事業者数とか人口当たり等の指標にするなど、町全体としてなるべくごみを出さないようにするといった評価が必要ではないか。 ② P107 河川清掃ごみ回収量は令和４年で 3,420t が令和 10 年には 3,500t に増加している。これは、考え方として、現在、回収しきれないものを回収しましょうということなのか。 ・もう一つの方向性としては、町全体で、SDGs を進めていく上では、ポイ捨てをなくし、川下に流れていかないようにするのが大原則であり、これを徹底することにより、そもそも回収しなくてもいいという考え方ではないか。どっちの立場かを議論した方がいい。

	<p>③ P86 具体施策③の「つくり育てる漁業」はかなり前から言われて、時代遅れの感がある。</p> <p>これからは、P87の漁獲量の多さではなく、漁獲量は同じぐらいか少なく設定するが、漁業者の皆さんにとってはきちんと資源管理をして、なおかつ美味しく、付加価値の高いものを高く消費者に買ってもらう、それで賄えるという方向性ではないか。</p> <p>その下の「養殖業や観光との連携」はいいと思うし、単に獲る漁業だけではなく、環境教育という視点は必要である。CPUE(*)という指標がある。たくさん獲れたので、いいのではなく獲り過ぎないのがいい。ただ、指標の目標値の設定は難しいものがある。指標としては「お金」の話、収入の話に持っていった方がいいかもしれない。ただ、これも数値設定が難しい。大切なのは、漁獲量に見合っ、積極的に食卓で食べてほしい。これと食育と一体化して推進しないとけない。</p> <p>※【CPUE】単位努力あたりの漁獲量=「一本 or 一網 or 一隻でどれだけ獲れたか」のこと。対象種の豊富さの間接的な尺度であり、位努力当たりの漁獲量の変化は、対象種の真の豊度の変化を意味すると推測される。CPUEの減少は乱獲を示し、CPUEが変化しない場合は持続可能な収穫を示すもので、CPUEには、資源量を測定する他の方法よりも多くの利点がある。</p>
事務局	<p>いただいた指摘分を含め担当課と共有する。古い記述等再確認しながら、適切にこれらを反映できるようにしたい。また、指標等で不明なことがあったら、ご相談したい。ご協力いただきたい。</p>
加野会長	<p>指標自体が低めに設定している指標が結構ある。低めの方が楽なところもあるが、目標値はしっかり設定する必要がある。</p> <p>国際交流から言えば、宇多津町は外国人が多い。特性として反映されるといい。ところで、姉妹都市連携はあるのか。</p> <p>藤井学園の100周年のセレモニーの時に、学校間のつながりが縁で、ドイツの元大統領がきていた。高松市も中国南昌との姉妹都市を締結している関係で、学校も南昌との交流を促されている。</p>
事務局	<p>現状ではしていないが、部分的なものとして、中学校は以前、ベトナムに行っていた関係で、ベトナムの政府の方が来られて、交流を深めた。</p>
加野会長	<p>亀井さんはどうか。</p>
亀井委員	<p>バイトでレジをやっていたが、外国人が多い。身近に触れ合える場が増えるといい。</p>
加野会長	<p>ジャンさんは何かあるか。</p>
チャン ティ カム ジャン委員	<p>特になし。</p>
橋本委員	<p>P41 高齢者福祉のところで、要介護に対して取り組みたいことが中心となっているが、要介護になるまでの段階にある要支援については、あまり触れられていない。要支援から要介護になるまで結構ハードルが高く、その間の家族の負担が大きい。今後、高齢社会が進行する中、要支援は増えてくるのではないか。</p>
事務局	<p>保健福祉課の方で、介護保険の事業計画づくりを進めている。障害者計画も同様である。今後、この計画を踏まえて現状の取組と今後の方向性を加えていきたい。</p>

久保氏	<p>商工会では、毎年、介護と相続のセミナーを開催しており、それにプラス空き家対策についてもセミナーを開催している。</p> <p>町とも空き家対策についてのセミナーを開催しているが、なかなか解決策は難しい。方向性がうかがえるものであれば、データ的にはどうかと思っている。</p>
事務局	<p>P97-98③空き家の推進のところに今後の空き家対策の検討の方針なりをあげ、マッチングシステム等の構築も取り組んでいる。現状の課題等も把握して、検証しながら進めていきたい。</p>
加野会長	<p>その他いかがか。こども大綱の案が出されており、それに合わせ、従来の子ども・子育て支援事業計画に加え、子どもの貧困、また引きこもり等に対する若者支援も重要な課題となっている。</p> <p>本町においても、無視できない問題である。そのような中、子ども食堂は県下では主導的立場でされている。</p>
川瀧委員	<p>「うたづ おしこくさん（お遍路さん）」の拠点が売却という話になっているが、次の拠点が欲しい。貸してほしい声はある。イギリスやフィンランド等外国人が多いが、（来た人のほとんどが）素通りするのがもったいない。何かこのようなものがあればと思う。</p>
事務局	<p>ご意見はいただいている。なんとかできる形で進めてまいりたいと検討している。具体的ではないが、まちづくりの視点から続けていきたいと思っている。しばらく待っていただきたい。</p>
加野会長	<p>その他いかがか。</p>
事務局	<p>尾藤委員のご質問への回答だが、コミュニティバスについては、10月から坂出のバスが乗り入れているが、宇多津町のバスと坂出のバスの乗り継ぎが今のところうまく行っていない。それを踏まえ、停留所や乗り継ぎの時間、乗り継ぎ場所等について、アンケート等を取っており、早急に利便性の良いものにしていこうとしている。</p> <p>今、バス自体が一台であり、コースのこと、行き帰りの時間が分からない、乗り方が分からないといった問い合わせがあれば、まちづくり課の方に連絡いただきたい。また、乗る時から降りる時、帰るまで寄り添ったりしているので、それも希望があれば、まちづくり課の方に連絡いただきたい。</p>
事務局	<p>事務連絡になるが、次回の審議会は来年の1月中旬から下旬頃を予定している。内容については、本日の意見を踏まえ、基本計画素案の確定や成果指標、目標指標の確定についてご審議いただく予定となっている。本日、手元に次回審議会の日程調整用の用紙を配布している。委員のスケジュールと照らし合わせて、12月11日月曜日までに事務局の方に提出いただきたい。なお、会議の開催前には事前に資料を送付する予定である。</p>
加野会長	<p>最後に何かあれば伺いたい。12月11日までの日程表送付時に、気が付いたことがあればお願いしたい。</p>
事務局	<p>これで審議会を終了する。</p>

以上